

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1632
事業コード		事務事業名	小学校建設事業	
根拠法令等	義務教育法、地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備に係る国の財政上の特別措置に係る法律	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	児童のために
手段	小学校の校舎・体育館等の施設整備をすることにより
想定する成果	安全かつ快適な学習環境をつくる

事業の概要

(千円)

項目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
校舎補強	3棟	57,797	4棟	77,863	3棟	162,000
体育館大改・補強	2棟	82,805	1棟	94,060	0棟	0
耐震診断・設計委託	3棟	9,256	17棟	8,615	0棟	0
プール改修	0校	0	0校	0	1校	12,000
その他	2校	17,147	0校	0	0校	0

成果指標

成果指標名	校舎補強工事実施率	体育館大改・補強工事実施率
成果指標の説明	$(\text{実施棟数} + \text{補強済}) / \text{補強必要棟数} * 100$ 但し新耐震及び補強不要校舎20棟	$(\text{実施棟数} + \text{補強済}) / \text{補強必要棟数} * 100$ 但し新耐震体育館2棟

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	40.7%
	実績	14.8%	29.6%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	90.9%	100.0%	-
事業費	事業費	167,005	180,538	174,000
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	169,418	182,873	176,367
財源内訳	国	51,999	64,092	32,000
	県	0	0	0
	市債	62,400	89,000	84,300
	その他	0	0	0
	一般財源	55,019	29,781	60,067

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	体育館の補強工事は終わったが、校舎等の耐震工事は始まったばかりである。
経済効率性	2	2	2	2	児童に対し安全かつ快適な教育環境をつくり、また、災害時の避難所にも使用できる。
事務効率性	3	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	平成14年4月に東海地震の強化地域に指定され、学校施設の耐震化が急務である。
小計	9	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	3	-	体育館の補強工事が終わり成果は上がっているが、校舎等の耐震工事は始まったばかりである。
合計	11	8	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	体育館の補強工事は終わったが、校舎等の耐震化は急務である。
------	---	---	---	---	-------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の補強工事は平成18年度で完了した。 ・校舎の耐震補強工事は平成16年度から開始をしている。 	

今後改善すべき点

<p>実施設計の早期実施により、全体の事業量を正確に掴むとともに、年度ごとの事業量を適切に配分し無理のない計画作成が必要である。</p>
--

平成20年度予算に反映する項目

<p>校舎耐震化工事費 校舎耐震化工事に伴う実施設計業務</p>

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1632
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	小学校施設管理事業		
根拠法令等	義務教育法、学校保健法、消防法 人にやさしい街づくり条例		A(法令)	B(条例)	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	児童のために
手 段	小学校の施設・設備・教材備品等の整備をすることにより
想定する成果	充実した学校の生活環境をつくる。

事業の概要

(千円)

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画
特別営繕工事	13校(38件)	31,952	13校(37件)	26,356	28,034
施設・備品修理	13校(22件)	5,090	13校(36件)	5,972	5,500
施設維持管理委託	13校(33件)	12,593	13校(29件)	13,345	13,174
賃借料(CPU・用地)	13校(32件)	42,804	13校(32件)	40,563	40,336
その他運営費		5,356		4,852	2,238

成果指標

成果指標名	洋式トイレ改修率	生徒100人当たりパソコン設置台数
成果指標の説明	改修トイレ箇所数/小学校トイレ*100	パソコン設置台数/小学校生徒数*100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	55.4%	58.1%	-
成果指標	計画	-	-	0.05台
	実績	0.05台	0.05台	-
事業費	事業費	97,795	91,088	89,282
	人件費	7,240	7,006	3,945
	(人数)	0.9	0.9	0.5
	合計	105,035	98,094	93,227
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他 一般財源	105,035	98,094	93,227

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	特別営繕工事、施設の修繕等は毎年各学校からの要望に応えられていない。
経済効率性	2	2	2	2	投入した経費相当の改善は図られている。
事務効率性	3	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	-	3	-	3	
小計	6	8	5	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	8	8	7	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	施設の老朽化がひどいため、営繕工事及び修繕等に対応しているが追いつかない状況にある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
施設老朽化改善対策のための営繕工事費等を最小限に抑え予算を圧縮してきた。	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

施設の老朽化がひどいため、営繕工事費及び修繕費の充実したい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1632
事業コード		事務事業名	中学校建設事業	
根拠法令等	義務教育法、地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備に係る国の財政上の特別措置に係る法律	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	生徒のために
手 段	中学校の校舎・体育館等の施設整備をすることにより
想定する成果	安全かつ快適な学習環境をつくる

事業の概要

(千円)

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
校舎補強	0棟	0	0棟	0	1棟	33,000
体育館大改・補強	0棟	0	1棟	111,283	1棟	150,000
耐震診断・設計委託	1棟	5,040	12棟	11,648	0棟	2,200
プール改修	0校	0	0校	0	0校	0
その他	4校	81,642	0校	0	0校	0

成果指標

成果指標名	校舎補強工事实施率	体育館大改・補強工事实施率
成果指標の説明	$(\text{実施棟数} + \text{補強済}) / \text{補強必要棟数} * 100$ 但し新耐震及び補強不要校舎20棟	$(\text{実施棟数} + \text{補強済}) / \text{補強必要棟数} * 100$ 但し新耐震体育館2棟

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	20.0%
	実績	10.0%	10.0%	-
成果指標	計画	-	-	100%
	実績	33.3%	66.7%	-
事業費	事業費	86,682	122,931	185,200
	人件費	1,609	1,557	2,367
	(人数)	0.2	0.2	0.3
	合計	88,291	124,488	187,567
財源内訳	国	22,860	29,131	47,800
	県	0	0	0
	市債	0	56,700	94,000
	その他	0	0	0
	一般財源	65,431	38,657	45,767

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	体育館の補強工事は計画通りすすんでいるが校舎等の耐震工事は始まったばかりである。
経済効率性	2	2	2	2	生徒に対し安全かつ快適な教育環境をつくり、また、災害時の避難所にも使用できる。
事務効率性	3	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	平成14年4月に東海地震の強化地域に指定され、学校施設の耐震化が急務である。
小計	9	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	3	-	体育館の補強工事は計画どおりにすすんでいるが、校舎等の耐震工事は始まったばかりである。
合計	11	8	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	体育館の補強工事は計画どおり進んでいるが、校舎等の耐震化は急務である。
------	---	---	---	---	-------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
体育館の耐震化工事は平成19年度で修了する見込みである。 校舎の耐震工事は平成16年度から開始した。	

今後改善すべき点

実施設計の早期実施により、全体の事業量を正確に掴むとともに、年度ごとの事業量を適切に配分し無理のない計画作成が必要である。

平成20年度予算に反映する項目

校舎耐震化工事費 校舎耐震化工事に伴う実施設計業務

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1632
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	中学校施設管理事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	生徒のために
手 段	中学校の施設・整備・教材備品等の整備をすることにより
想定する成果	充実した学校の生活環境をつくる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画
特別償繕工事	7校(21件)	19,188	7校(18件)	13,352	17,500
施設・備品修理	7校(14件)	2,795	7校(26件)	4,169	2,800
施設維持管理委託	7校(23件)	7,358	7校(21件)	6,978	6,963
賃借料(CPU・用地)	7校(32件)	41,236	7校(32件)	27,505	23,114
その他運営費		7,686		1,339	1,388

成果指標

成果指標名	洋式トイレ改修率	生徒100人当たりパソコン設置台数
成果指標の説明	改修トイレ箇所数/中学校トイレ*100	パソコン設置台数/中学校生徒数*100

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	57.1%	59.6%	-
成果指標	計画	-	-	0.12台
	実績	0.11台	0.11台	-
事業費	事業費	78,263	53,343	51,765
	人件費	6,435	6,227	3,945
	(人数)	0.8	0.8	0.5
	合計	84,698	59,570	55,710
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	84,698	59,570	55,710

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	特別営繕工事、施設の修繕等は毎年各学校からの要望に応えられていない。
経済効率性	2	2	2	2	投入した経費相当の改善は図られている。
事務効率性	3	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	-	3	-	3	
小計	6	8	5	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	8	8	7	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	施設の老朽化がひどいため、営繕工事及び修繕等に対応しているが追いつかない状況にある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
施設老朽化改善対策のための営繕工事費等を最小限に抑え予算を圧縮してきた。	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

施設の老朽化がひどいため、営繕工事費及び修繕費の充実したい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1632
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	小中学校事務事業		
根拠法令等	蒲郡市職員定数条例	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市立小・中学校において
手 段	事務員（主事・校務員・非常勤職員）が小・中学校における事務を補助することによって
想定する成果	小・中学校教育の円滑な執行を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
校務員の数	5	5	5
非常勤職員の数	15	15	15
小・中学校事務員の合計	20	20	20

成果指標

成果指標名	事務員の非常勤化率	事務員一人当たりの人件費（手当・共済費を除く）
成果指標の説明	非常勤職員の数/学校数×100	全体の給料/小・中学校事務員の合計

事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	75.0%
	実績	75.0%	75.0%	-
成果指標	計画	-	-	2,045
	実績	2,153	2,093	-
事業費	事業費	37,882	36,654	36,040
	人件費	41,829	40,477	42,601
	(人数)	5.2	5.2	5.4
	合計	79,711	77,131	78,641
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	79,711	77,131	78,641

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	学校事務員の非常勤化は予定通り順調に進んだ。
経済効率性	3	3	2	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	常勤から非常勤に変わるなかで、事務員の勤務時間が短くなり、その分教職員が負担するようになった。
必要性	-	2	-	2	小・中学校教育の円滑な執行を図るためには、事務員の配置は不可欠である。
小計	8	10	7	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	事務員の配置は学校教育の円滑な執行に寄与している。
合計	10	10	9	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	経済効率を考えると十分な成果が上がっていると考えられるが、勤務時間が短くなった分は教職員がカバーしていることを考慮する必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成15年度まで一部の学校に主事を配置していたが、平成16年度からは校務員又は非常勤職員を配置している。	

今後改善すべき点

事務員の非常勤化が進み、非常勤職員の勤務時間が短いため、時間帯により教職員が少なくなることが考えられるため対策が必要である。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】